

園芸

リンドウ主力に販売金額2億8,820万円目指す

JAと西和賀花卉生産組合は7月14日、営農部西和賀地域営農グループ農産物集出荷場（西和賀町沢内）で「西和賀花卉出荷大会」を開きました。



組合員やJA職員、関係機関など約80人が参加し、JA職員が集出荷の対応や販売対策などについて説明。参加者たちは目標販売額の達成に向けて決意を新たにし、乾杯をしました。

同組合の主力品種であるリンドウは、地域特有の涼しい気候と昼夜の寒暖差により鮮やかな色合いに育ちます。紫を中心にピンク、白など10種類以上のオリジナル品種も栽培しています。

令和2年度 目標販売額	
リンドウ	2億4,900万円
ユリ	2,440万円
グラジオラス	1,378万円
その他切花	2万円
鉢物・苗木	100万円
合計	2億8,820万円

関係機関と一体となり、需要期に大量出荷できるよう努めたい。販売金額約2億9,000万円を目指して頑張ろう!

西和賀花卉生産組合
高橋 文昭組合長



園芸

大玉トマト出荷規格指導会 高品質出荷に向け選果スタート

JAは7月7日、石鳥谷園芸センター（花巻市石鳥谷町）で大玉トマトの出荷規格指導会を開きました。

JA職員が販売形態や出荷規格のほか、出荷時の傷害果、花落ちなどの品質や選果基準を説明。「出荷時に、押し傷や腐敗に繋がる傷を作らないよう気を付けてほしい。出荷時は大丈夫でも、市場に到着してから果肉が見えているものや果汁がでているものはクレームに繋がる。ここ数年クレームはないが、改めて出荷規格を確認し選別をお願いしたい」と呼び掛けました。



参加者たちは、本格的な出荷シーズンに向けて規格を確認し、高品質出荷に向けて意識統一しました。

佐々木隆史センター長は「ト

マトは、栄養価の高い野菜ということで人気がある。高品質なものを出荷するよう栽培管理の徹底をお願いしたい。JAは、生産者に1円でも多く返せるように頑張っていく」と話しました。

石鳥谷園芸センターは、6月23日から今年度の大玉トマトの選果を始めました。作業員たちは、1つ1つ丁寧に確認しながら作業をしています。



JA管内の大玉トマトは1カ所に集約し、共同選果をして関東に出荷します。

令和2年度 販売目標
・販売額…7,300万円 ・出荷量…242t

各グリーンセンター定休日

8月・9月の定休日と営業時間は次の通りです。ご確認の上ご来店ください。

*定休日と営業時間はそれぞれの店舗によって異なりますのでご確認ください。
*右記のほかに8月31日(月)が第2四半期棚卸しのため休業します。

	定休日	営業時間	お盆期間中の臨時営業時間
花巻	8/2(日)/8/16(日)/9/6(日)/9/13(日)		8:30~17:00
石鳥谷	8/8(土)/8/22(土)/9/12(土)/9/26(土)	8:00~17:00	15(土)・16(日)…8:30~15:00
大迫	土・日・8/10(月)	平日:8:30~17:00/祝日:8:30~12:00	
東和	8/15(土)/9/19(土)	8:30~17:30	14(金)…8:30~17:00/16(日)…8:30~15:00
北上	8/16(日)/8/23(日)/9/27(日)	平日:8:30~18:00/	13(木)…8:30~17:00/14(金)・15(土)…8:30~15:00
西和賀	8/13(木)/8/23(日)/9/6(日)/9/22(火)	土・日・祝日:8:30~17:00	14(金)…8:30~17:00
遠野	8/15(土)/9/9(水)	8:30~18:00	14(金)・16(日)…8:30~15:00

●お問い合わせ先: 営農部生産資材課 ☎ 0198-22-6192 または、最寄りのグリーンセンターまで

園芸

最盛期に向け規格や品質を確認

JAは7月、花巻市で早生種と中生種の「リンドウ出荷目揃会」と北上市で「小菊出荷打ち合わせ会」を開きました。生産者やJA職員、関係機関が一丸となり本格的な出荷に向けて意識統一をしました。

◆早生種・中生種 リンドウ出荷目揃会

花巻地域花き生産部会りんどう専門部は7月20日、石鳥谷東支店（花巻市石鳥谷町）で早生種と中生種のリンドウ出荷目揃会を開きました。



部員やJA職員など30人が参加。JA職員が草姿や花型、花色などの出荷規格について説明しました。水に濡れた葉は、腐敗の原因となるためよく乾かすこと。過度な水揚げは傷みの原因になることから、収穫や調製時に注意するよう呼び掛けました。

JAが地域の中核農家を指導役として任命している「農の匠」の板垣忠夫さんは、実物を見せて出荷規格を説明。「規格で、曲がり許容が変わるのでしっかり見極めてほしい。秀品を多く出荷するように頑張ろう」と呼び掛けました。

◆北上地域小菊専門部出荷打ち合わせ会

北上地域花卉生産部会小菊専門部は7月8日、和賀町花き集出荷場（北上市和賀町）で出荷打ち合わせ会を開きました。



部員やJA職員、関係機関など41人が参加しました。JA職員が花色や茎葉などの出荷規格や出荷の留意点について説明。水あげは涼しい場所で行い、常にきれいな水を使用するよう呼び掛けました。小菊の目揃いでは、参加者などで各品種の品質を確認しました。

今年度の生育状況は、昨年度に比べてやや遅いが順調。約14haで栽培し、出荷量228万本、販売額8,550万円を目指します。最盛期は7月下旬から8月上旬です。

畜産

第4回花巻農協肥育部会枝肉共励会を開催

肥育部会は7月22日、東京都の東京肉肉市場(株)で「第4回花巻農協肥育部会枝肉共励会」を開きました。

去勢、雌の黒毛和種合わせて30頭が出品。審査の結果、上物率は93.3%、最優秀賞には北上市の(株)高田畜産の出品牛(去勢・生体重865kg・枝肉重量570kg)が選ばれました。

同日、北上・みなみ・さくら・二子支店(北上市流通センター)で褒賞授与式を開きました。部会員やJA職員、関係機関など約50人が参加。下記受賞者に賞状を渡しました。

共励会は、生産者の技術向上と安定的な生産を目的に開催しています。

- 【最優秀賞】(株)高田畜産(北上市)
- 【優秀賞】(株)西部開発農産(北上市)
高橋 雄孝さん(北上市)
高橋 正栄さん(花巻市)
- 【優良賞】伊藤 朗さん(花巻市)
八重樫京一さん(花巻市)
阿部 久穂さん(花巻市)

園芸

互いの園地視察 若手りんご生産者グループ

果樹部会若手りんご生産者グループ「THE RINGO STAR」は7月15日、花巻市内でメンバーの園地を視察する「園地巡視会」を開きました。



グループのメンバーやJA職員など21人が参加。小原忍会長は「メンバーの園地を参考に質問や意見を出し合い、今後の栽培技術を磨こう」と呼び掛けました。

参加者たちは、メンバーの園地3カ所を巡回。りんご栽培のほかに桃の栽培をしているメンバーの園地では、桃の生産と販売について学びました。桃は植えてから成木化年数が短く、早期に収益をあげられることやりんごの収穫時期と重ならないことから、導入を検討するメンバーも見受けられました。

巡視会は、メンバー同士の理解を深めて技術研さんを図ろうと5年前から実施しています。